

ぎふ感染症かわら版

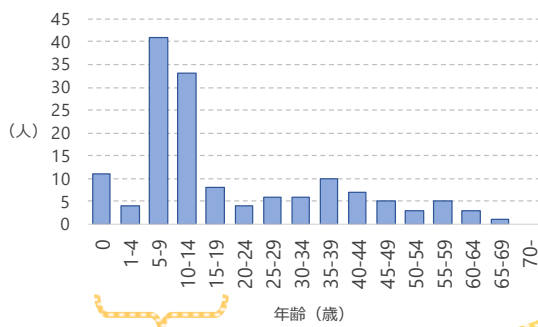
令和元年 7月 26日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



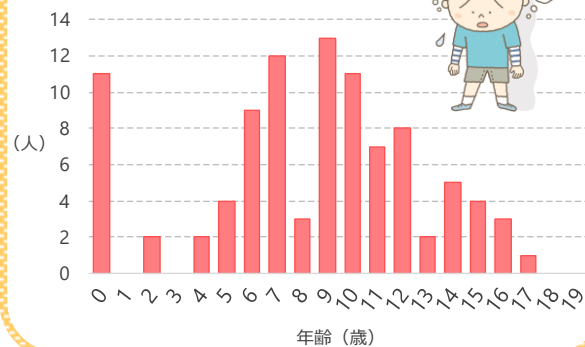
百日咳に注意しましょう！

小学生のお子さんを中心に百日咳にかかる人が多くなっています。
過去にワクチンを接種した人もかかることがあり、また、赤ちゃんでは重い症状になりやすいため、注意が必要な感染症です。

岐阜県内の百日咳の年齢別患者数*



20歳未満の年齢別患者数



*2018年1月1日～2019年7月21日に県内で報告された患者147人の内訳

多くのおさんは、1～2歳までにワクチン接種を済ませていますが、年数がたつとワクチンの効果が弱まり、小学生ぐらいで百日咳にかかる人が増えています。



どんな病気？

百日咳菌による感染症です。

感染してから5～10日後に、かぜのような症状から始まり、だんだんと咳が強くなります。コンコンと激しくせき込み、最後にヒューッと息を吸い込む特徴的な発作がみられます。咳は2～3週間かけて治まりますが、数か月続くこともあります。

6か月未満の赤ちゃんが感染すると、呼吸停止など重い症状になることがあります。

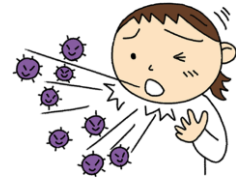
大人やワクチン接種を済ませたお子さんの場合は、軽い咳が続くだけのことも多く、百日咳と気づかないまま周りの人への感染源となっていることもあります。



どうやってうつるの？

百日咳菌は、感染している人の咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、菌に触れた手指などを介した**接触感染**でうつります。

百日咳菌の感染力はとても強いため、家庭内や学校などで感染が広がってしまうことが多いです。



予防方法は？

😊 ワクチン

百日咳にはワクチン（四種混合ワクチンまたは三種混合ワクチン）があります。

お子さんは生後3か月になったら定期接種の対象となりますので、計4回の接種を必ず受けましょう。

ただし、接種後4～12年ほどたつと、ワクチンの免疫効果は弱まってきます。大人や年長のお子さんは、任意接種として三種混合ワクチンを追加接種することもできますので、接種を希望する場合は医師とよくご相談ください。



百日咳の予防ワクチン

ワクチンの種類	四種混合ワクチン (DPT-IPV)	三種混合ワクチン (DPT)
予防できる病気	ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ	ジフテリア 百日咳 破傷風
定期接種※	生後3か月～90か月に定められた間隔で4回接種	

※定期接種とは、予防接種法に基づき、市町村が原則無料で行う予防接種のことです。

😊 手洗い・咳エチケット

日ごろから手洗いや咳エチケットなど基本的な予防に努めることが大切です。

😊 お医者さんに診てもらおう

咳が続くときは、早めに医療機関を受診しましょう。

～赤ちゃんを感染から守りましょう～

予防接種を終わっていない赤ちゃんのいる家庭では、家族から赤ちゃんにうつすことがないように、とくに注意が必要です。

咳が出るときはマスクを着け、赤ちゃんと身近に接するのを控えましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

